

CODAについて



概要

- **名称：**
一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構
(Content Overseas Distribution Association
略称：CODA)
<http://www.coda-cj.jp>
- **目的：**
音楽、映画、アニメ、放送番組、ゲームなど日本コンテンツ産業の海外展開を促進すること、並びにコンテンツ産業が一致協力し、共同で海外における海賊版対策を講じることを目的とする。
- **沿革：**
2002年8月 経済産業省・文化庁の呼びかけにより任意団体として設立
2009年4月 一般社団法人格取得

最近の取り組み：ファスト映画対策

- 2021年6月23日
宮城県警察本部と塩釜警察署は、YouTubeを通じて映画を権利者に無断でアップロードしていた容疑者3名を著作権法違反の疑いで逮捕した。
- 2021年7月14日
上記容疑者3名が著作権法違反の罪で起訴された。
- 2021年11月16日
上記被告人3名の初公判が11月2日に宮城県仙台地裁で開かれ、11月16日、第二回公判において、それぞれに以下の有罪判決が下った。
被告A（主犯格） 懲役2年、4年間執行猶予、罰金200万円
被告B 懲役1年6月、3年間執行猶予、罰金100万円
被告C 懲役1年6月、3年間執行猶予、罰金50万円
- 2022年5月19日
CODAおよび一般社団法人日本映像ソフト協会（JVA）の会員企業13社からなる原告は、ファスト映画を無断でアップロードしていた上記被告3名に対し、損害額は20億円と算定し、そのうち5億円を一部請求として、5月19日付けで東京地方裁判所に提起した。

マンガ・アニメ海賊版対策協議会（MAGP）、CODAの 取り組みと今後の課題について

「マンガ・アニメ海賊版対策協議会」

M.A.G | MANGA-ANIME
GUARDIANS

国内外のマンガ・アニメ産業における海賊版対策を目的に、2013年7月、経済産業省の呼びかけに賛同した民間企業が集まり、業界の垣根を超えて発足。事務局はCODAが務める。

現在は正規流通促進のための広報・啓発活動をプロジェクトの柱として『MAGP (Manga Anime Guardians Project)』事業を実施。直近の取り組みとして、「STOP！海賊版」ケロロ軍曹 x 「NO MORE映画泥棒」のコラボ啓発アニメは全国劇場で本編公開前に上映。



海賊版対策・著作権侵害対応



警察・刑事事件
法整備
広告対策
削除申請
損害賠償請求
etc.



普及・啓発・教育



広報活動

情報モラル教育



デジタル・シティズンシップ
教育

【現状】

- ・デジタル社会における**子供たちを取り巻く環境は大きく変化**（コスパ・タイパ志向、フィルターバブル現象等）
- ・**ファスト映画事件**のような**新しいコンテンツ消費行動に伴う著作権侵害事件**が発生

【課題】

- ・「させない・触れさせない指導の情報モラル教育」からデジタル市民として倫理的問題とどう向き合うか
- ・海賊版対策としても、従来の知識としての著作権教育から、**子どもたちに「主体的・自律的にコンテンツとどう関わるか」を考**えてもらうための活動及び**機会の創出が喫緊の課題**

【ご紹介】MAGPでこれまで作成された普及啓発コンテンツ

出版社の枠を超えて、16作品の啓発漫画が描きおろされました。漫画小冊子(実物)、電子漫画のほか、パラパラ漫画(YouTube動画)、ポスターなどもご用意しております。

CODAトップページ » 普及啓発 » 「STOP! 海賊版」漫画



電子啓発漫画、YouTube動画、英語版の閲覧は左の2次元コードから
※パソコンやスマートフォンからアクセス可能です

著作権侵害事件や海賊版対策に係る取り組み等のご紹介、お問い合わせについてはCODAまで

一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA) TEL : 03-3524-8880 Email : webmaster@coda-cj.jp (担当 : 湯口・張)